

臺灣守備兵血球調査報告 附熱帶貧血ニ就テ(承前)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38685

ニ思ハレマスガ然シ前述ノ通り治療上キアス帶ヲ貼スルトカ支柱器ヲ用ユルトカ多少外科ニ於テナスコトガ多イ様デアリマスルナレドモ實際ノ療法ハ内科的ノデアリマスル如此内科ト外科トニ渡ツテ居ル病ハ澤山ニアリマスルガ即チ初期ニ内科的末期ハ外科的ノ處置ヲ要スルモノ或ハ其反對ノモノ等多クムリマスカラ如此病ヲ治療スルトキハ内科ト外科ト連絡ガ必要デムリマス從來外科醫ハ其數少ナク本邦ノ如キ醫學ノ大分進歩シタ様デアリマスルガ全國ノ醫師中眞乎ニ外科ヲ専門トシテ從事シ居ルモノハ其百分ノ一ハ勿論ニ百分ノ一モアリマセヌ大多數ハ内科醫デアリマスルカラ總テ外科的ノ病ニ罹ルトキハ患者ハ内科病ニ罹リシヨリモ治療上後レヲ取ルトカ不完全ノ治療ヲ受クトカ色々不幸ニ遭フコトハ數理上ヨリ認メラル、事實デアリマスルカラ私ノ希望スルハ如此場合ニ於テ内科醫ト外科醫ト圓滑ナル連絡ヲナシ互ニ相談致シ互ニ補佐シ合ヒマスルト患者ハ幸福デアリ又外科モ今迄ヨリモ進歩シ得ルトト考ヘマス現在ハ此連絡ガ甚ダ薄イ様ニ考ヘマスカラ特ニ一言希望ヲ述ベマスル(完)

○臺灣守備兵血球調査報告附熱帶貧血ニ就テ

(承前)

陸軍一等軍醫 野口詮太郎

(北臺)

次表ハ前號誌上ニ悉ク登載スル等ナリシモ紙面ノ都合ニ由リ本號ニ分載スルトトナリタリ著者及讀

者之ヲ諒セヨ (編者誌)

臺灣守備步兵第一大隊軍役志願者(基隆) 附表第五

體格	榮養	體重	赤血球個數 一密米立方中	麻拉里亞ニ罹 リン回數	原籍并ニ原職	姓名	年 齡	備 考
甲	甲	一五、〇九〇	四〇八、四〇〇	近年罹リシ ナシ	臺北縣基隆堡和興頭街	謝海洋	二十二年	一、明治卅四年三月 八日檢査施行
同	乙	一四、六〇〇	三九七、四〇〇	全	全金包里堡麻里阿突農	李 先	二十六年	二、符ヲ附スルハ 卅三年十二月ハ
同	同	一五、二〇〇	三二八、五七三	全	全基隆堡大武崙農	許 進	二十五年	卅三年十二月ハ 卅二年十二月ハ
同	同	一四、八〇〇	四七二、四二八	本年一回	全基隆堡會仔藿街農	蔡 朝	二十二年	卅二年十二月ハ 卅一年十二月ハ
同	同	一五、七〇〇	五五三、三三六	本年一回	全基隆堡曾仔藿街農	王 昌	二十四年	卅二年十二月ハ 卅一年十二月ハ
同	同	一四、七〇〇	二八六、五〇〇	本年一回	全石碇堡水返脚下街	廖 成	二十二年	ス
同	同	一四、七〇〇	四八九、三三〇	本年一回	全金包里堡下六服街	陳 新	二十四年	
同	同	一四、三〇〇	三三三、八四八	本年一回	全石碇堡水返臟上街農	陳 乞	二十二年	
同	同	一四、七五〇	三三四、二〇〇	本年一回	全金包里堡大源庄	陳 食	二十二年	
同	同	一四、五〇〇	三四四、六一五	本年一回	全基隆堡和興頭街	廊 瓊	二十五年	
同	同	一四、四〇〇	三四四、六一五	本年一回	全金包里堡崙何頭庄雇家	張 文	二十六年	
同	同	一四、四〇〇	三四四、六一五	本年一回	全基隆堡大武崙苦力	許 道	二十四年	
同	同	一五、五〇〇	四四六、六六八	本年一回	全金包里堡二坪庄農	謝 新	二十二年	
同	同	一四、五〇〇	四八〇、〇〇〇	本年一回	全金包里堡二坪庄農	陳 樅	十九年	
同	同	一八、八〇〇	三八五、七〇〇	本年一回	全金包里堡跳石庄農	謝 厚	二十五年	
同	同	一五、七〇〇	四四六、〇〇〇	本年一回	全金包里堡跳石庄農	謝 文	十八年	

臺灣守備步兵第八大隊軍役志願者(宜蘭)

(原著)

(原著)

麻拉里亞ニ權リ シナキモノノ十 二名平均	甲	乙	同	同	甲	同	乙
	甲	乙	同	同	甲	同	乙
一四、〇七五	一三六、〇〇〇	一三六、〇〇〇	一三六、〇〇〇	一三六、〇〇〇	一三六、〇〇〇	一三六、〇〇〇	一三六、〇〇〇
四、五〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	四、二〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇
	全	全	全	近年權リシ ナシ	近年權リシ ナシ	全	近年權リシ ナシ
	全桃仔園	全	全	全臺北縣大料坡後尾街	全三板橋(臺北附近)	全臺北板橋(臺北附近)	全三板橋(臺北附近)
	翁萬生	陳文庫	周祖成	周祖成	黃有	陳龍通	呂阿生
	二十二年	十八年	十九年	二十一年	二十一年	二十一年	二十四年
							一、檢查明治卅四年 六月三日施行

臺北衛戍病院備看病人并ニ備厨夫(臺北)

同	甲	乙	同	同	同	甲	同	乙	甲
乙	甲	乙	甲	乙	同	甲	同	乙	甲
一五、三九〇	一四、四〇〇	一五、三九〇	一五、三九〇	一五、三九〇	一六、一〇〇	一六、九〇〇	一四、七〇〇	一三、八〇〇	一六、九〇〇
四、四〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
昨年一回	昨年一回	昨年一回	昨年一回	昨年一回	昨年一回	昨年一回	全	全	近年權リシ ナシ
全羅東堡珍珠里簡社	全	全	全	全	全	全	全	全	宜蘭廳四圍堡辛仔罕社農
嚴阿蛟	李根	王同	李安	呂充	潘阿蛟	游貽闢	劉堯枝	翁連登	潘千乃
二十一年	二十二年	二十二年	二十三年	二十六年	三十年	二十四年	二十四年	二十六年	二十九年
									一、檢查明治卅四年 三月十二日施行 二、○符ヲ附スルハ 卅三年十二月ハ 日ノ入營ニメ他 ハ卅三年一月十 日ノ入營トス

其他ノ二十名ノ平均
 一五、四一六
 一四、二八八
 四一九、〇〇〇
 四三七、二八七

病兵調査表 附表第六

渡臺後ノ經過日數	發病年月日	入院年月日	マラリヤ種類	採血年月日	赤血球數	既往并ニ現症摘要	隊號等級姓名	年齡
一六六	十一月十二日	十一月十九日	不正日熱	十二月五日	三三四	渡臺後マラリヤニ罹ルルニ五回規尼涅ノ筋肉注射内服共ニ奏効ナシ	歩兵第九大隊第二中隊 二等卒 松田庄太郎	全
一六三	十一月十三日	十一月十六日	不正日熱	十二月十三日	一六四	渡臺後二回マラリヤニ罹リ共ニ入院セリ体格榮養共中等体温三十八度乃至三十九度ノ間ヲ昇降シ規尼涅ノ筋内注射奏効ナシ	臺浦守備歩兵第四大隊 第二中隊 二等卒 久保 宇助	二十三年
一六二	八月二十四日	八月三十日	不正日熱	十二月五日	三三六	熱ノ發作反復常型ナク規尼涅ノ内服共ニ無効体格榮養中等	歩兵第四大隊第一中隊 二等卒 萩原 榮次郎	全
一六〇	十月十四日	十月十六日	稽留熱	十二月五日	三〇四	渡臺後二回癩病規尼涅ノ内服奏効衰弱ヲ貽ス	工兵第二中隊 二等卒 万代 寅三	全
一五九	十一月一日	十一月廿三日	單純日熱	十二月五日	三六〇	渡臺後數回癩病規尼涅内服奏効不確体格良榮養中等	歩兵第四大隊第三中隊 一等卒 川瀨 乙次郎	全
一五八	十一月八日	十一月十一日	不正日熱	十二月五日	三六四	渡臺後癩病入回規尼涅注射内服共ニ無効	歩兵第四大隊第三中隊 一等卒 小森 源太郎	全
一五三	十一月十二日	十一月十三日	不正日熱	十月六日	一七六	渡臺後九回癩病セシモ常ニ輕症体格中等榮養不良脾腫ハ第七肋間ヨリ季肋下二指幅徑ニ達ス	歩兵第四大隊第一中隊 一等卒 高田 丑之助	全

(原著)

(原著)

一七	一八	一七	一七	一七	一八	一七	一七	一八
十一月十二日	十月十二日	十一月十九日	十一月十六日	十一月廿七日	十月一日	十一月十四日	十月廿七日	十一月十七日
十一月十五日	十月廿七日	十二月二十日	十一月廿八日	全日	十月三日	十一月二十日	十一月五日	十一月廿八日
	三日熱	不明	不明	同發熱	三日熱	日發熱	輕症三日熱	兼發熱 胸膜炎
十二月六日	十二月七日	十二月六日	十二月六日	十二月六日	十二月六日	十二月六日	十二月六日	十二月七日
二七	三四	四八	二四	三七	三六	三六	二七	三八
渡臺后六回罹病内二回入院 體格榮養共 ニ不真入院后日々規九〇頓服 シ ムルモ卅五度乃至三十八度 間チ昇降シ 未ダ全ク解熱セズ	横徑廷出ス 下加フル褪色スルコトナシ 脾ノ季肋下一指 ニ壓チ 養長顏面黃色ヲ呈シ全身ニ大豆大ノ皮 下瘡血ヲ發シ其色帶藕紫色ニ 變シ	渡臺后四回罹病今回初メテ入院 體格榮養共 ニ不真入院后日々規九〇頓服 シ ムルモ卅五度乃至三十八度 間チ昇降シ 未ダ全ク解熱セズ	渡臺后二回罹病體格中等榮養不真 貧血 入院后大ナル發作ナシ	渡臺后七回罹病内二回入院 體格中等 榮養不真貧血黃疸アリ入院後大ナル 發作ナシ	格中等榮養不真貧血ス入院后規九〇 ニヨリ一日解熱セシモ五日ヨリ四十度 ニ熱シ規九〇内服ニヨリ多少ノ消長 アリ無熱ナリ脾季肋下二指橫徑ニ達ス	渡臺后六回罹病内三回入院共二十日 以 内ニテ治奏効下熱ス脾季肋下二指 規ニ達ス	渡臺后五回罹病内四回入院 體格中等榮 養不真顏面蒼白色ヲ呈ス規九〇内服 効	渡臺后四回罹病内三回入院 體格中等榮 養不真貧血ヲ呈ス熱ハ四十度 分乃至三十五度五分間チ昇降シ規九〇 ハ胸膜炎ノ爲メモアルヘキモ稍頑固ノ モノトス
步兵第九大隊第三中隊 一等卒 黑田 鐵九郎	步兵第四大隊第一中隊 一等卒 武田 虎吉	步兵第九大隊第二中隊 二等卒 古田 辰次郎	步兵第九大隊第二中隊 一等卒 宮本 兵作	步兵第九大隊第四中隊 上等兵 石本吉右衛門	步兵第九大隊第三中隊 一等卒 近藤 喜兵衛	步兵第九大隊第四中隊 二等卒 水谷 金三郎	步兵第九大隊第二中隊 二等卒 沼田 榮吉	步兵第四大隊第三中隊 二等卒 芳賀 萬次郎
全	全	全	全	全	全	全	全	二十三年

一五	一六	一六	一六	一五	一七	一八	一七	一八	
十全 十一月廿一日年	十全 十一月十三日年	十全 十一月廿八日年	十二全 十二月一日年	十二全 十二月一日年	十二全 十二月六日年	九全 九月十日年	八全 八月四日年	十一全 十一月廿五日年	
十全 十一月廿二日年	十全 十一月十四日年	十二全 十二月二日年	十二全 十二月二日年	十二全 十二月七日年	十二全 十二月七日年	九全 九月十三日年	八全 八月十四日年	十一全 十一月廿七日年	
不正日 發熱	混合七 日熱?	三日熱	不正三 日熱兼 脚氣	單純 三日熱	日發熱	マラリ ヤ兼化 膿性肝 臟炎			
十全 十二月十四日年	十全 十二月十四日年	十二全 十二月十四日年	十二全 十二月十四日年	十二全 十二月九日年	十二全 十二月九日年	十二全 十二月六日年	十二全 十二月六日年	十二全 十二月六日年	
三三〇	三三〇	三九六	二四四	三四〇	三六四	三三八	三七六	三六六	
渡臺后二回罹病入院后二回發作シ規丸ノ内服ヨリ一時截慮セシモ再發セリ○ 肝腫ナシ	渡臺后六回内入院体格榮養稍不長顔面蒼白ヲ呈シ貧血ス脾腫硬固ニメ三指横徑季肋下ニ延出ス	渡臺后三回罹病入院后一回發作ニテ規丸内服ニヨリ解熱体格榮養共ニ長脾腫ナシ	渡臺后初メテ罹リ入院后三回發作シ規丸内服ニヨリ解熱体格榮養共ニ長ナラズ	渡臺后九回罹病今回初メテ入院セリト云フ体格中等榮養不良貧血不眠アリ食思不振嘔氣アリ腹部膨滿シ痲痛痲疹ニ達シ壓痛アリ	渡臺后四回罹病内三回入院体格榮養中等微黃疸アリ	渡臺后三期病共ニ入院セリ今回ノ發病初期ヨリ肝臟部ニ疼痛アリ肝腫大シ臍部ニ達セリ試穿上臍部アリ血液検査上一視野ニ三個月ノ半月形赤血球ヲ見タリト体格榮養中第三回ノ半月形赤血球ヲ見タリ然ニ吸取シマラリヤ亦給ス	渡臺后二回罹病共ニ入院セリ体格榮養性ナリ入院后非常ノ消長アリ經過頗ル慢不ナリ現今脚氣症狀ヲ兼ス	渡臺后十回罹病体格中等榮養不良入院后發作ナシ	渡臺后九回罹病内二回入院体格榮養中等僅カニ黃疸アリ入院后二回發作アリシノミ
歩兵第十六大隊第四中隊 一等卒 増谷 爲吉	歩兵第十大隊第二中隊 二等卒 頼田 榮三郎	歩兵第十大隊第二中隊 上等兵 下田 龜藏	歩兵第十大隊第二中隊 二等卒 白岩 鐵三郎	砲兵第二大隊第二中隊 一等卒 藤田 勝三郎	歩兵第九大隊第三中隊 二等卒 吉脇 之互助	歩兵第四大隊第三中隊 上等兵 松村 熊太郎	歩兵第九大隊第四中隊 二等卒 松浦 小次郎	歩兵第九大隊第四中隊 二等卒 佐々木 寅吉	歩兵第四大隊第三中隊 一等卒 吉田 權大夫
全	全	全	全	全	全	全	全	全	

(原著)

全	一九一三年三月十九日	一〇	一七	一七	一七	一七	一六	一六	一六	一六
九全	八全	十全	九全	十全	十全	十全	十全	十全	十全	十全
月十四日	月一日	月卅一日	月廿六日	月廿三日	月廿九日	月一日	月廿七日	月十一日	月十日	月十日
九全	八全	十全	十全	十全	十全	十全	十全	十全	十全	十全
月廿四日	月十五日	月廿四日	月十五日	月廿四日	月一日	月三日	月三十日	月十二日	月十三日	月十三日
弱發單 熱純日 衰	弱不正 衰	日弛張 發熱性	弱マ 後衰	不明	日發熱	氣マ 兼脚	日發熱	發不正 熱日	不明	七日熱 ?
全全	十全	十全	十全	全全	全全	全全	全全	全全	十全	十全
日年	十二月十七日	十二月十五日	十二月十五日	日年	日年	日年	日年	日年	十一月十五日	十二月十五日
四三	四四	二四	三六	二四	三〇	三七	二六	三六	三四	四四
二回罹病体格榮養中等衰弱ヲ貽ス	五回罹病体格集養中等衰弱ヲ貽ス	四回罹病体格榮養共ニ中等脾ハ季肋下ニ指横徑ニ達ス	渡臺后初メテ罹ル体格榮養共ニ中等目下脚氣ヲ貽ス	五回嘈囉病体格榮養共ニ中等脾ナシ	渡臺后初メテ罹ル体格榮養稍不良僅カニ脾腫アリ	渡臺后初メテ罹病体格榮養佳良脾ハ季肋下ニ指横徑ニ達シ輕症脚氣症狀アリ	四回罹病体格榮養不良脾季肋下三指横徑ニ達ス脚氣併發貧血著シ	五回罹病体格榮養中等脾腫ナシ歩行ニ妨ナキト腫反射消失ス	三回罹病体格榮養中等心窓苦悶アリ吞酸嘈囉アリ脾腫季肋下三指横徑ニアリ	渡臺后二回罹病体格榮養中等肝脾共ニ入院時腫大セシモ現今去ル
歩兵第五大隊第四中隊 一等卒 秋本 重太	歩兵第五大隊第四中隊 一等卒 海田 甚三郎	歩兵第十大隊第四中隊 一等卒 森 下卯三郎	歩兵第十大隊第三中隊 二等卒 桑原 末丸	歩兵第十大隊第二中隊 二等卒 山本 利治	歩兵第十大隊第二中隊 二等卒 平田 傳榮	歩兵第十大隊第二中隊 一等卒 松原 精藏	歩兵第十大隊第一中隊 一等卒 菊地 武雄	歩兵第十大隊第四中隊 一等卒 土本 力松	歩兵第十大隊第一中隊 一等卒 出口 多市	歩兵第十大隊第一中隊 上等兵 山根 藤助
全	二十四年	全	全	全	全	全	全	全	全	全

(原著)

二六	二六	二六	二六	二二	一四	二二	二二	全	全	全
十二全 二月十一日 年	十二全 二月三日 年	十二全 一月廿八日 年	十二全 十一月十六日 年	十二全 十二月十日 年	十二全 十一月十五日 年	十二全 一月廿二日 年	十二全 二月五日 年	十二全 月廿五日 年	十二全 月十日 年	十三全 月十三日 年
十二全 二月二十日 年	十二全 二月廿六日 年	十二全 二月五日 年	十二全 一月廿二日 年	十二全 二月廿一日 年	十二全 二月十二日 年	十二全 二月五日 年	十二全 二月九日 年	十二全 月廿七日 年	十二全 月廿五日 年	十三全 月十五日 年
不明	不正日 發熱	三日然	悪性マ ラリヤ	日發熱	弛張性 日發熱	弛張熱	兼脚熱 三日熱	弱マ ラリ	弱マ ラリ	弛張熱 衰弱
十二全 二月廿八日 年	十二全 二月廿八日 年	全全 日年	十二全 二月廿八日 年	全全 日年	全全 日年	全全 日年	十二全 二月廿三日 年	全全 日年	全全 日年	十三全 十二月十七日 年
二〇四	二二六	一四六	二〇〇	四〇六	二二六	三六四	二五七	四〇四	四〇八	三六〇
四回癩病二回入院 血ヲ呈ス	四回癩病体格中等 一日七八回ノ下痢アリ		二回癩病体格中等 ハ季肋下四指横徑ニ達ス	渡臺后初メテ癩病 胸腫ナシ	渡臺后初メテ癩病 自貧血腫ハ季肋下二指 指横徑ニ挺出ス	渡臺后初メテ癩病 臟肝臟僅カニ腫大シ 三十九度間ニアリ	二回癩病共ニ入院前 ノ狀アリ香莖濃肝膽 アリ尿中胆汁ナシ	渡臺后十三四回癩病 ス	十一回癩病内二回入院 弱ヲ貽ス	体格榮養中等ニシテ リ衰弱ヲ貽ス
歩兵第六大隊第二中隊 一等卒 治松 祐	歩兵第六大隊第三中隊 一等卒 峰元 善太郎	歩兵第六大隊第三中隊 二等卒 米海 藥作	歩兵第六大隊第三中隊 上等兵 龜頭 要藏	歩兵第十一大隊第三中隊 二等卒 加藤 荒助	砲兵第三大隊第一中隊 二等卒 增崎 辰吉	工兵第三中隊 一等卒 岡部 幸助	歩兵第十二大隊第四中隊 一等卒 江口 爲吉	歩兵第五大隊 一等卒 繩田 七之助	歩兵第五大隊第四中隊 一等卒 梶木 八助	歩兵第五大隊第四中隊 上等兵 濱木 八助
全	全	全	全	全	全	全	二十三年	全	全	二十三年

黒水熱患者調査表

附表第七

五ヶ月	六ヶ月	六ヶ月	六ヶ月	五ヶ月半	六ヶ月	六ヶ月	約四年	渡臺後ノ 経過日數
十二 月八日	十一 月廿七日	十二 月三日	十一 月廿七日	十一 月廿七日	十一 月十七日	十一 月廿九年	十三 年十一月廿九日	入院年月日
十二 月九日	十二 月六日	十二 月五日	十二 月四日	十二 月三日	十二 月四日	十二 月七日	十一 月廿七日	採血月日
三四	一八	一六	一七	一三	二三	(二五) (二七)	(一六) (一八)	赤血球數
卅三年七月渡臺後七回癩病十二月二日發病体格榮養不真中等顔見憔悴黃疸嘔吐尿色黒色ヲ呈シ膀胱アリ脈搏惡シ危篤ニ迫レリ	卅三年六月渡臺後癩病七回十一月廿七日發病体格榮養不真嘔吐黃疸膀胱アリ尿特異色ヲ呈ス	卅三年六月渡臺後八回十二月一日發病体格榮養中等黃疸嘔吐發熱ノ狀ヲ呈セリ尿ハ特異色ヲ呈ス五日ヨリ尿色常ニ復シ諸症輕快ス	卅三年六月渡臺後五回癩病卅四年發病黃疸嘔吐アリ尿ハ特異ノ色ヲ呈シ膀胱アリ十二月四日已後輕快セ	卅三年六月渡臺後癩病亞ニ癩ルコト五回發病体格中等榮養不真黃疸嘔吐膀胱アリ尿量減少シ比重一〇一〇卅日已後漸次輕快セリ	卅三年六月渡臺後數回癩病十一月十六日發病体格榮養長黃疸腫脹アリ黒色尿ヲ泄ラシ嘔吐頻ナリ廿四日ヨリ症狀輕快セリ	卅三年六月渡臺後四回癩病体格不真ヲ呈ラズ黃疸嘔吐黃苔アリ膀胱アリ体温卅九度已上ヲ昇降ス尿ハ黒色ヲ呈シ量減少シ比重一〇二〇アリ十二月一日已後尿常ニ復シ漸次下降セリ	渡臺後數回癩病拉里ニ癩シリ今回ハ十一月廿五日發病体格中等榮養不真衰弱シ黃苔著煩嘔吐アリ使通一日四五回尿量一三〇〇〇比重一〇六黒色ヲ呈ス膀胱アリ十二月一日已後尿色常ニ復シ体温下降セリ	既往并ニ現症摘要
全工兵第二中隊 二等卒 朝比奈米藏	全第一中隊 一等卒 藤原重造	全第一中隊 上等兵 今藤忠次郎	全第四大隊第一中隊 一等卒 山口伊勢松	全第九大隊第三中隊 二等卒 橋本平藏	全第四大隊第一中隊 一等卒 山中吉助	臺灣守備步兵第九大隊 第三中隊 曹長 川尻忠雄	臺灣守備混成第二旅團 小使 豐田仙太郎	隊號等級姓名
全	全	全	全	全	二十三年	三十一年	三十五年	年 齡

(原著)